

朝小サマースクールオンラインのアンケートで寄せられた質問に
講師のひきたよしあき先生にお答えいただきました。

■書くことについて

Q:作文の書き出しに悩みます。

書き出しで悩むと文章がなかなか進みません。まずは気楽に
書けることから書いていきましょう。

Q:どこから書いたらいいか分からなくて、いつも気が重くなります。

考えをまとめてうまく書けるようになる練習法はありますか？
まずはどこから書くということを決めずに、
白い紙にどんなことを書くかを思いつくまま書いてみましょう。
書いているうちに、書く順番や自分の言いたいことが見つかるよ。

Q:短い文でも書くことを繰り返すことで作文の苦手を克服できますか？

もちろん！ 毎日、4～5行文章を書く訓練をすると見違えるほどうまく
なるよ。

Q:作文に取りかかる前に時間がかかってしまう場合はどうすればいいですか？

何もやらない状態を長く続けると、余計にやりたくなくなります。
毎日2行でも3行でも書く。書けなくても原稿用紙に向かう時間を
つくることです。

Q:自分の気持ちをうまく表現するにはどうしたらいいですか？

「ウソだと思った」「やってみたいと思った」「ほっとした」など自分の
感情を書くように心がけましょう。

Q:表現する楽しみがまだ分からないようです。

よい教え方があれば知りたいです。
誰かにむけて文章を書くと、楽しくなるよ。マンガの主人公でもペットでも
誰かに話しかける文体で書くと、楽しくなります。

Q:要約がうまくなるにはどうしたらいいですか？

まずは長さを気にせず書くこと。そこからいらなと思ったものを
けずること。はじめから要約するのではなく、文章をけずる努力をして
ください。

Q:読書感想文にあらすじは必要ですか？

あらすじではなく、内容を要約すると考えましょう。

Q:読書感想文や推せん文の他に読書にも関係する文って何かありますか？

本についての書評やレビューなどがありますが、まずは感想文と推せん文を
書けるようにしましょう。

■読むことについて

Q:おすすめの本はあるんですか？

あなたが手にとってみて、読みたくなった本がおすすめだよ。

Q:本のえらび方について教えてください。

ジャンルの違う本を図書室で3冊選び、どの順に読みたいかを考える。
「なぜこの本を一番に読みたいか」「なぜこの本は3番目なのか」と
読みたい本、読みたくない本を自分で説明するようにすると、だんだん
自分が読みたい本がわかってきます。

Q:学習マンガを読みますが、マンガではないような本に取り組むのは
どんなきっかけがよいですか？

私は学習マンガが好きで、今でもよく読んでいます。マンガで読むのも大切な
勉強法だよ。マンガではない本を読むコツは、マンガで一度読んだ本を活字で
読むこと。「豊臣秀吉」のマンガを読んだら、今度は読みやすそうな秀吉の
伝記を読もう。絵で表現されていたところが活字でどのように書かれるかを
確認することで表現力が身につきます。

Q:夏目漱石や芥川龍之介の有名な小説はありますか？

夏目漱石は「坊っちゃん」「三四郎」、芥川龍之介は「蜘蛛の糸」「杜子春」が私のおすすめです。

Q:早く読む方法、主人公の心を深く読み取るにはどうすればいいですか？

「え～、そんなこと言うの！」「そっち行っちゃダメだよ！」とか主人公の言動に自分の感情をぶつける。その繰り返して、人の気持ちがわかるようになるよ。

Q:低学年のうちから斜め読みしたり、複数の本を同時読み（章節ごとに本を変える）することは、いいことなのでしょうか？

何が書いてあったのか覚えている。どんな感想をもったかが言える。そうであるならば、いいと思います。

Q:読書がすすまない高学年の子に、読んでやってもよいのでしょうか？

かまいません。私も父に読んでもらっていました。おかげで今でも、本を読むと父の声がします。

Q:読書の時間は1日どのくらいがよいですか？

人によります。大切なのは同じ時間に同じ場所で読むくせをつけることです。

Q:毎日の勉強の中で読書の時間を入れるにはどうしたらいいですか？

朝と夜、15分でもいいので、同じ時間、同じ場所で読むようにしましょう。

Q:電子書籍についてどう思いますか？

悪くはありませんが、まずは紙で読むようにしましょう。試験はまだ紙です。